

【例題－高卒農業1】

草花のたねまきとその後の管理に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. シクラメンの種子は暗発芽種子であるため、覆土した後、新聞紙などで覆って湿度を保つ。
2. ケイトウの種子は明発芽種子であるため、覆土せず、ガラス板などで覆って湿度を保つ。
3. 微粒種子は、覆土した後、底面給水あるいはミストによってかん水する。
4. 種子に覆土する場合、種子が動かないように重い土を用い、覆土の厚さは種子の厚さの2～3倍とする。
5. 一般に、草花の発芽適温は育成適温よりも低いことが多く、発芽が揃うまでは温度を12～15℃程度に保つ。

(正答) 1